

文化の家市民参画プロジェクト

文化の家ワーキンググループ（大規模改修について）第2回 記録

日時：平成26年10月8日（水） 午後7時から午後9時

場所：文化の家 食文化室

参加者：

公募メンバー 大島令子、加藤良行、近藤均、島田善規、都築徳紀、広中省子、岩瀬信廣

ファシリテーター 浅野芳夫 （公財）愛知県文化振興事業団 事業部長代理

文化の家 川上實、舩山勝人、浦川正、白木敏雄、石野俊匡

創造スタッフ 小林大地

香山壽夫設計事務所 浜野次郎、横山智香

内容

- 1 配付資料確認（白木）
- 2 香山壽夫設計事務所 自己紹介
浜野：文化の家は、設計から関わっており、思い出深い建物。改修にも関わられてうれしい。皆さんの意見を伺いたい。
- 3 参加者・事務局自己紹介
- 4 第1回会議議事の確認、および、議題に上がった用件についての事務局の考えについて説明（白木）
- 5 ディスカッション 参加者意見より
 - ・北側の非常階段にサビが目立つ
←階段の補修は可能。北テラスは監視カメラなどを活用して、エリア分けをして活用してはどうか？（浜野）
 - ・アトリビングの中庭、東テラスの設計意図はどういうものか？
←都会にはないゆとりを生かすためのスペース。（浜野）
 - ・香流川との一体感が弱い。遊歩道・北テラスの活用ができないか？
北ガレリアの利用と合わせて検討します。（監視カメラ設置、危険箇所の対策等は必要となります。）
 - ・東側歩道の段差（特に自転車通行時）が危険
段差がわかりやすいように蛍光テープをつけていますが、まだ見づらいかもしれません。
段差をなくすか、わかりやすくし、かつ外観を損ねない方法がないか検討します。
 - ・2F中庭部分、1F西テラスなどベビーカー使用者と一緒に使えるようなアイデアはないか？ 2F駐車場も含めて使いやすくなる工夫を。
アトリビングの使用時に、中庭も利用できるように検討します。
 - ・大型バイクの駐車スペースの設置を。
場所を確保できるか検討します。
 - ・障がい者、高齢者、子育て世代の対応を含め、飲食のできる場所の拡充を。
2年ほど前に、施設の飲食可能エリアを拡大しました。今後も様々な方がくつろぎやすい空間を目指します。

- ・可児市などを見ると水がうまく使われている（池など）。文化の家にも散歩用の回遊路があると良い。

施設内に改めて回遊路の設定はしませんが、北側の香流川遊歩道と南側の野田農公園、また友愛橋を渡った桜ヶ根公園等を利用して欲しいと思います。

- ・月見、花火大会などでのイベントに使えるスペースがあると良い。

北テラス、講義室東「うつろい」のあるスペース等を検討。

- ・設計時の意図と現状の使われ方はあっているか？

当初想定した利用とは若干ずれが出てきていることから、現在の利用状況また将来的なニーズに応える形で変更できればと考えています。

- ・2F 芝生駐車場は、水はけの問題からコンクリートにしては？との意見があったが、芝生を守り続けたことは良いと思う。

今後の改修においても、芝生をできるだけ残した形で検討していきます。

- ・畑の意義、意図は？

数年前に、市の土地となりました。今年は NAF 実行委員会により子供たちと畑を実施し、収穫した野菜を使い食分化室で料理を作りました。今回の改修では難しいが、今後は、取付け道路やエントランスを含め利用方法について検討します。

- ・学生の勉強スペースを設備として整備してはどうか？

フリースペースは勉強に使ってもらっても良いと考えていますが、改めて自習室を作る予定はありません。

- ・照明のLED化を。

→なるべく行っていく（浜野）

- ・展示室の壁面がああいう仕様なのはなぜか？

←壁は消耗品として考えている。（浜野）

- ・高齢化対策は20年後、30年後を見越した改修を。

将来的に手戻りがないような改修を検討していきます。

- ・2Fに受付カウンターがあり、1Fに受付カウンターがない(事務室が奥まっている)のはなぜか？

→気軽に中まで入ってこられるように（浜野）

- ・光のホールを多目的に使えるようにしてほしい（JAZZ トリオや弦楽四重奏、レコードコンサートなどができるように）

今までにも光のホールで JAZZ 等のコンサートを実施したことがありますが、今回の改修で舞台を広げることで、多目的化を図っていきます。

- ・図書館と連携して、勉強は図書館へ、2Fのラウンジは文化目的に使えるように。

図書館の自習室も満室状態で文化の家に流れてくる状況であるため、棲み分けは難しい状況です。机やイスの配置場所等について検討していきます。

- ・弱者対策を是非行ってほしい。

車イス席の増設を実施していきます。

- ・建設時の基本コンセプトに基づく設計と、現状における個々のニーズとのずれがあることか

ら、もう1度コンセプトの見直し、ニーズの検証が必要。

今回のワーキンググループ及び先日行った利用者アンケートの内容を十分考慮し、ニーズを検証した上で、改修計画を策定します。

- ・春日井市以外の近隣の市町の施設と比較して、人が滞在しており、十分機能していると思う。

そのため、現状の評価を正しく行って、その上での議論を。

現状で評価されている部分を、改修で失わないように配慮し、改修計画を策定します。

- ・ガレリアに待ち合わせの目印になる物がほしい。

近々、アトリウムに創造スタッフの展示を吊す予定です。

しかし今後は、常時 目印となるようなもの、あるいは、名物となるようなものが設置できればと考えております。

- ・ガレリアに調理可能な設備ができないか？バザーの開催などがしやすい給排水設備がほしい。

現在、出張マルシェ等は、長机を利用した屋台で対応しています。

ガレリアでの給排水につきましては構造上難しいです。

- ・市内の文化団体向けの倉庫、収納設備がほしい。

ご要望の大きさでは無いと思いますが、アトリビングロッカーを利用していただきたいと思います。

一般の方が利用できるような倉庫を設置するスペースの確保は難しいです。

- ・アトリウムのドリンクコーナー、ビュッフェの活用を。

現在、週2回「楽歩」が出店していますが、今後にぎわいができるような工夫が必要と考えております。

- ・駐車場入口の進入角度が入りづらいが、車両の減速につながっている。また、駐車場入口付近の壁(駐輪場前の壁)が視界の妨げになり危険。ハンプをつけた方が良いのでは？

駐車場の侵入角度は、減速をさせる意味でそのままにします。

ハンプを設置する良い場所がないことから、ミラーで対応します。